

日本財団助成事業 「国産コーヒーを沖縄の農業ブランドに」 シンポジウムのご案内

私どもNPO法人ウヤギー沖縄は、就労で悩む若者に対し、農家の方々の指導を得て、有機農法による農作物の生産、加工、販売を通して、環境保護、循環型社会の創出、若者の自立支援を行っている非営利団体です。昨年から当団体では、日本財団の助成事業として「沖縄に農業ブランドを起こす」というセミナーと参加者を交えた座談会を計19回開催してまいりました。

沖縄には他県には無い、そして亜熱帯にしか育たない野菜や果物が多いのですが、本土と遠く離れているというハンデがあります。そこでこの農作物を加工して、他ではできないブランド品として開発・輸送することで、距離的な不利を克服できます。例えばローゼルという植物は沖縄では良く知られていますが、本土では殆ど知られていません。そこでお茶やジャムに加工することで長期保存や輸送にも適し、ブランドとしての販売も可能となります。私どもでは既にこのような形で加工・販売に着手していますが、まだまだ十分とは言えません。

—昨年からのセミナーや当団体理事長の10年間に及ぶ情報収集と研究の結果、今後沖縄ブランドとして飛躍的な発展が期待できる農産物として、わが国では沖縄でしか栽培できない「純国産コーヒー」を取り上げることになりました。

講師はコーヒー市場や評価に詳しく、コンサルタントとして全国的に大活躍しているお二方を東京からお迎え致します。お二人のご尽力で東京における国産コーヒーの高評価と販売ルートの確立もできつつありますし、しかもかなり高価での販売が可能です。

供給する沖縄の方としては食農連携コーディネーターで沖縄のコーヒー栽培に詳しい田崎聡氏と、長年コーヒー栽培に携わっている玉那覇三郎氏をお招きしております。

この機会に、沖縄の国産コーヒーの世界的な価値とコーヒー栽培による沖縄農業の収益拡大、更にこれに携わる若者の自立支援を目指したいと思います。しかし沖縄のコーヒー農家はまだ数えるほどです。そこでこのセミナーの目標は皆様方にも是非国産コーヒーの栽培に加わっていただきたいことと、できれば国産コーヒー生産者組合のような組織を作りたいとも考えております。一人でも多くの方のご参加を期待しております。

記

日 時：平成24年7月8日（日）午後2時～4時
会 場：カルチャーリゾートフェスト—ネ多目的室
宜野湾市真志喜3-28-1 Tel098-898-1212
コンベンションセンター向かい側
講 師：田崎 聡 氏

特定非営利活動法人食の風代表理事

杉本 淳 氏

NPO法人じゃばらむら理事長・農林水産省農林水産物・食品地域ブランド化支援アドバイザー

矢崎 栄司 氏

NPO法人えがおつなげて顧問農・食・環境ジャーナリスト・えがお大学院社会起業家支援コンサルタント

玉那覇三郎氏

コーヒー栽培農家

参加費：無料

講師プロフィール

- 杉本淳氏
神戸市出身。千葉大学卒業。これまで内閣府、農林水産省、経済産業省、九州、東北、中国の各経済産業局、地方自治体などの事業で、農林水産物などの地域ブランド化や6次産業化などに関わる。ただ単に第三者的な視点のアドバイスではなく、地域活性化に向けた最初のアクションを地域との協働作業で実践し、全国各地の地域活性化を展開中。また、地域活性化に関する講演活動や地域における関係者の合意形成などを図る活動も数多く実施。
- 矢崎栄司氏
静岡県出身。上智大学卒業。長年有機食品流通・有機農業にかかわり、社会問題や農・食・環境・健康等をテーマに執筆・講演活動を行うかたわら、有機食品ビジネス、有機の里づくり、放牧養豚農場企画、短角牛有機畜産化、無農薬米栽培等を行い、遊休農地解消プロジェクトにも携わる。
- 田崎聡（タサキサトシ）氏
東京生まれ、武蔵野美術大学卒業。重度の花粉症と沖縄病に悩まされ沖縄に移住。2004年沖縄・奄美スローフード協会設立 2010年NPO法人食の風設立。移住後、雑誌「うるま」「沖縄スタイル」「沖縄に住む」「沖縄暮らし」等の創刊編集長を経て、現在「食の風」を出版、現在に至る。「食農連携コーディネーター」としても活躍中。著書に「泡盛ブック」「泡盛王国」「沖縄食材図鑑」等がある。
- 玉那覇三郎氏

司会：NPO法人ウヤギー沖縄理事長近藤正隆

お問い合わせ先：特定非営利活動法人ウヤギー沖縄

〒904-0004 沖縄市中央 2-28-1 コリンザ 3 階

TEL098-934-2339 Fax098-989-4225 E-mail:kondo@jyda.jp

セミナー当日は、TEL090-8872-9215 にお願ひします。